

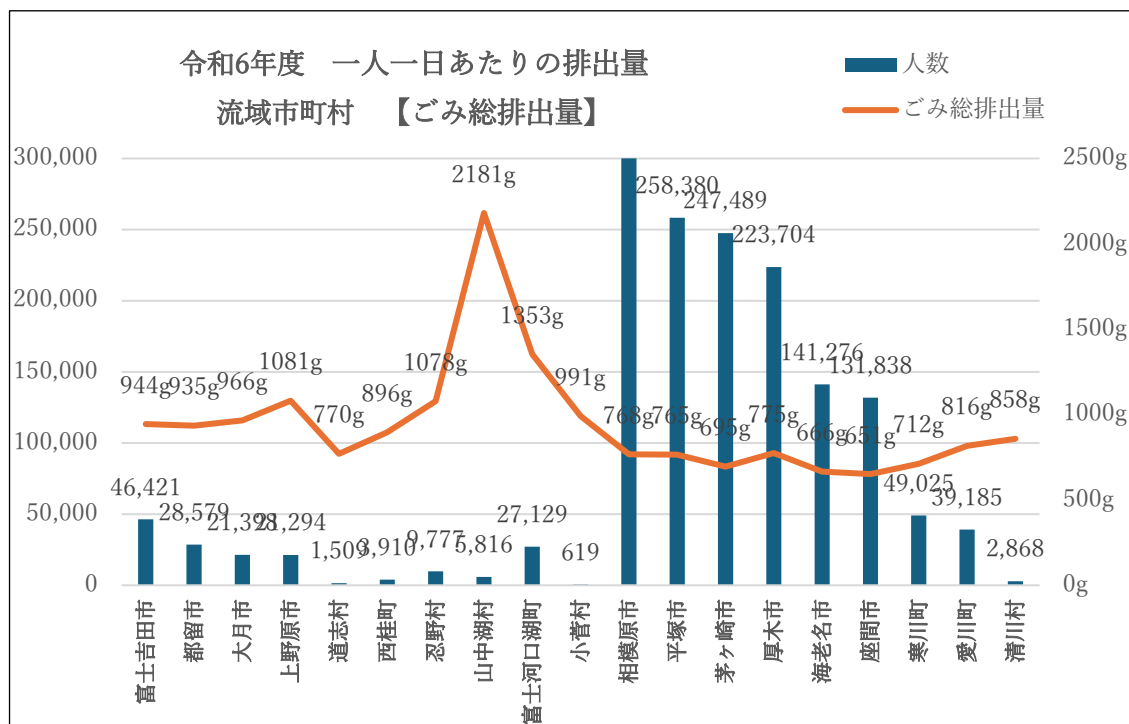
流域市町村 令和 6 年度 「一人一日あたりのごみ排出量」

環境省 HP 【環境省 廃棄物処理技術情報 廃棄物処理の現状と科学研究】より引用

1. 桂川・相模川流域市町村ごみ総排出量 人口とゴミ排出量グラフ

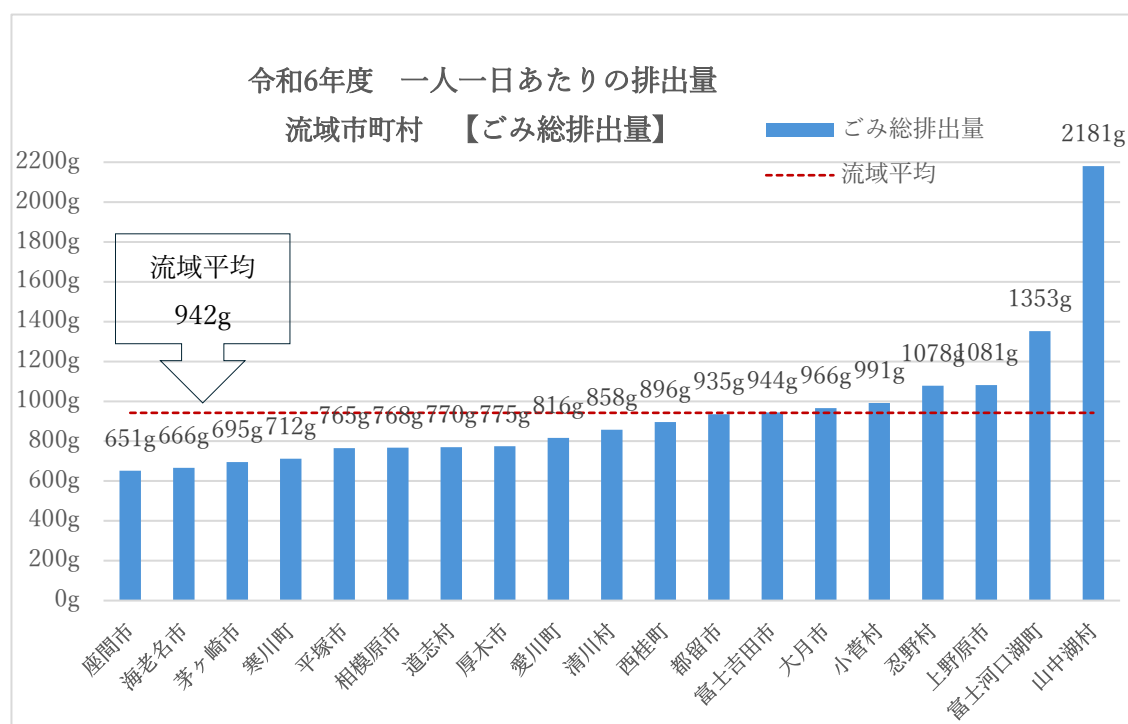
環境省定義 ごみ総排出量：自治体が関与する収集量＋直接搬入量＋集団回収量

総人口（人数）：住民基本台帳人口



2. 桂川・相模川流域市町村別【ごみ総排出量】比較グラフ

〔環境省定義〕 一人一日あたりのごみ排出量：ごみ総排出量/総人口×365

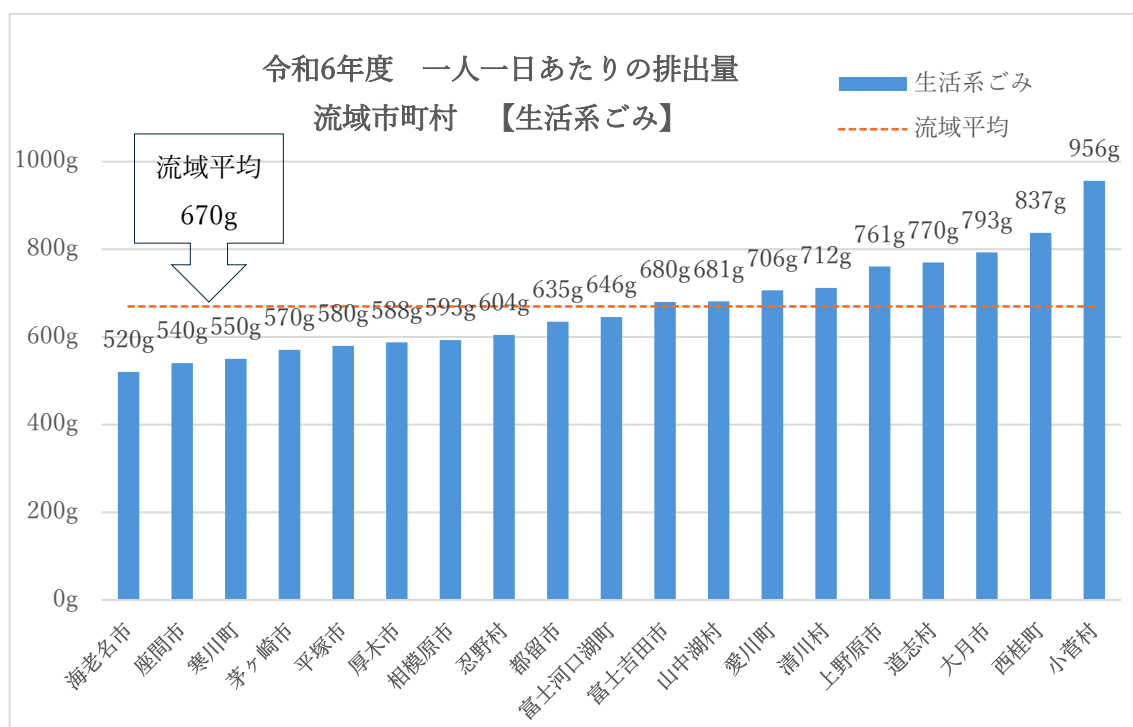


※一人一日あたりのごみ排出量は、山梨県：921g（人日）、神奈川県：752g（人日）

3. 桂川・相模川流域市町村別【生活系ごみ】比較グラフ

〔環境省定義〕 一人一日当たりの生活系ごみ：

$(\text{生活系ごみの搬入量} + \text{集団回収量}) \div \text{総人口} \div \text{年間日数 (365 日または 366 日)}$



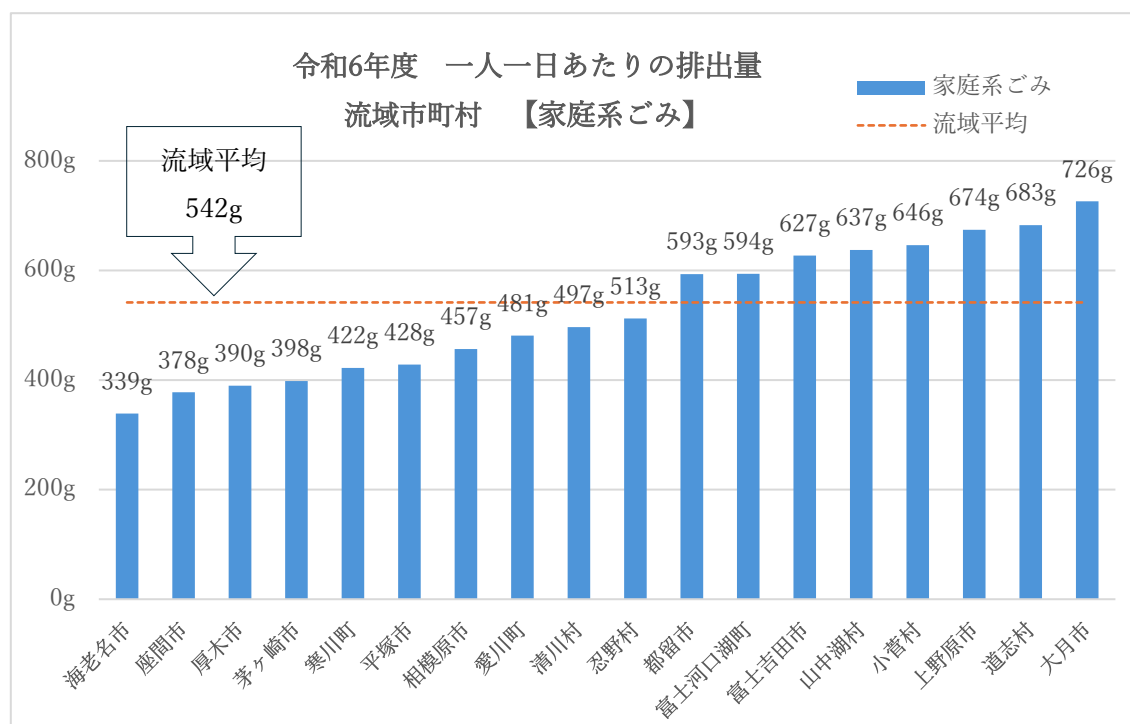
※一人一日当たりの生活系ごみ、山梨県：647g（人日）、神奈川県：571g（人日）

4. 桂川・相模川流域市町村別【家庭系ごみ】比較グラフ

〔環境省定義〕 一人一日当たりの家庭系ごみ：

$\text{家庭から排出されるごみの総量} \div \text{総人口} \div \text{年間日数 (365 日または 366 日)}$

※家庭から排出されるごみとは、（生活系ごみ－集団回収量－生活系直接搬入ごみ〔資源ごみ〕－資源ごみ収集量をさします。



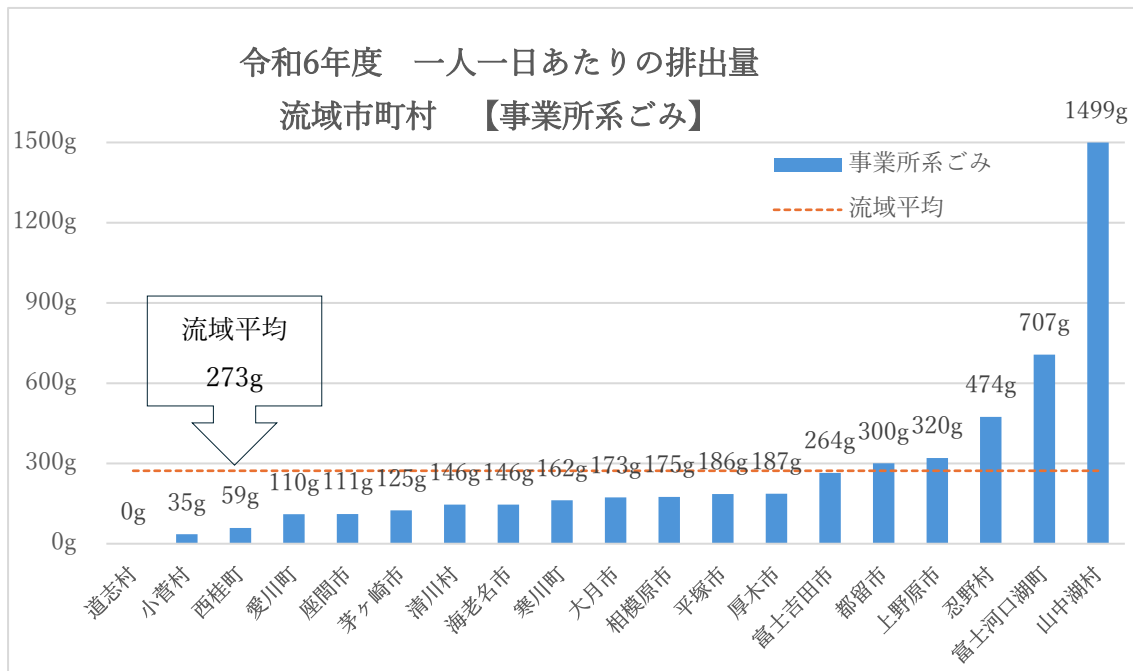
※一人一日当たりの家庭系ごみ、山梨県：556g（人日）、神奈川県：403g（人日）

4. 桂川・相模川流域市町村別【家庭系ごみ】比較グラフ

[環境省定義] 一人一日当たりの事業所系ごみ

= 事業所系ごみ搬入量 ÷ 総人口 ÷ 年間日数 (365 日または 366 日)

※事業所ごみ（一般廃棄物）とは、店舗、オフィス、工場、レストラン、学校、病院などの事業活動に伴って生じた廃棄物のうち、産業廃棄物以外のものをさします。

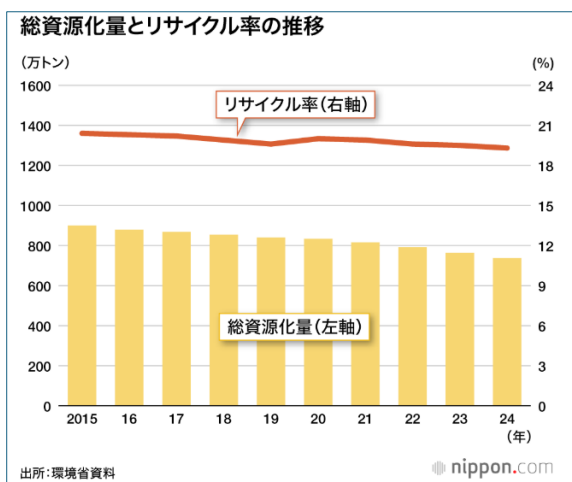
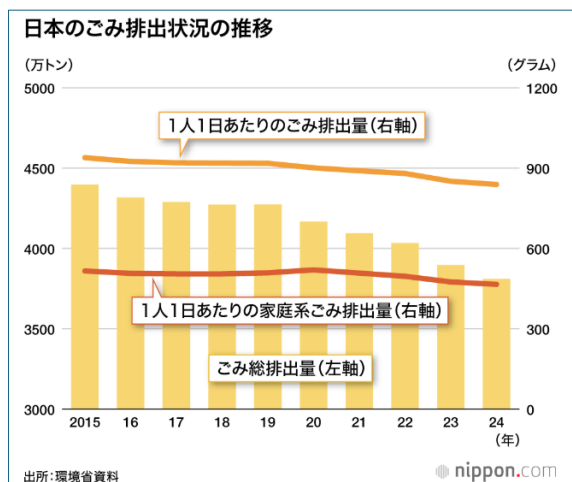


※一人一日当たりの事業系ごみ、山梨県：276g（人日）、神奈川県：183g（人日）

5. 環境省調査結果・令和6年度統計表から

引用：nippon.com ホームページより

令和6年（2024年度）のごみ総排出量は前年比2.2%減の3811万トン：リサイクル率は19.3%（環境省調査より）日本のごみ排出量はこの10年で1割以上減少。リサイクル率は僅かながら悪化傾向にある。



6. まとめ

第32回桂川・相模川流域シンポジウムが更なる「一人一日当たりのごみ排出量」を減らす機会になることを願います。

【一人一日当たりのごみ排出量を減らすポイント】

- 1) 使い捨て（シングルユース）を減らす
- 2) 食品ロスを減らす
- 3) リユース・修理を増やす
- 4) 正しくリサイクルする
- 5) 包装・パッケージごみを減らす

以上